



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社ゲオホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2681 URL <https://www.geonet.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）遠藤 結蔵
問合せ先責任者 （役職名）執行役員グローバル経理財務部GM （氏名）梶田 義章 TEL 052-350-5711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	125,000	19.7	5,301	32.8	5,527	30.1	3,190	30.8
2026年3月期第1四半期	104,460	4.3	3,993	△8.5	4,249	△22.5	2,438	△31.3

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 3,346百万円（42.7％） 2026年3月期第1四半期 2,344百万円（△34.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	80.19	80.04
2026年3月期第1四半期	61.39	61.14

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	302,653	100,833	33.3
2026年3月期	295,211	98,190	33.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 100,667百万円 2026年3月期 98,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	17.00	—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	510,000	6.0	13,000	△8.7	12,500	△18.6	6,000	△31.3	150.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	39,783,552株	2026年3月期	39,783,552株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	81株	2026年3月期	81株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	39,783,471株	2026年3月期1Q	39,723,786株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済環境は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移した一方で、ホルムズ海峡を巡る情勢をはじめとする地政学リスクに伴う原材料価格の高騰や為替変動、海外の関税政策の変化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

リユース業界におきましては、物価高騰を背景とした消費者の節約志向に加え、一点物の魅力や環境負荷低減といった価値観の広がりを背景に、市場成長が継続しております。

このような環境のなか、当社グループは「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、お客様の選択可能性を広げ利便性を向上するため、インターネットを介した電子商取引の拡充の他、2nd STREETを中心としたリユース店舗の新規出店を、国内及び海外において推進し持続的成長の実現に取り組んでおります。

セカンドストリート事業の動向といたしましては、国内および海外ともに商品構成の中心であるリユース衣料・服飾雑貨が、引き続き堅調に推移いたしました。また、店舗展開においてもほぼ予定通り出店できたことが、売上高の伸長に寄与いたしました。以上の結果、主に、衣料・服飾雑貨、家具・家電、等の売上高は43,673百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

ゲオ事業のリユース商材の動向といたしましては、家庭用ゲーム機においてダウンロード販売への移行が進む市場環境の影響を受けつつも、「Nintendo Switch 2」の中古品が売上高に貢献いたしました。また、スマートフォンやタブレット端末等リユース通信機器商材におきましては、市場環境に応じた柔軟な販売価格の見直しを行ったことなどが奏功いたしました。以上の結果、主に、ゲーム、スマートフォン・タブレット等のリユースの売上高は23,251百万円(前年同期比16.8%増)となりました。

ラグジュアリー事業の動向といたしましては、インバウンド需要の堅調な取り込みに加え、前期において米国市場の関税影響から海外卸売が停滞したものの、当四半期におきましては回復傾向を見せたことが売上高に貢献いたしました。以上の結果、リユースラグジュアリーの売上高は17,878百万円(前年同期比95.2%増)となりました。

新品の動向といたしましては、前年6月に発売された新型ゲームハード「Nintendo Switch 2」の初動特需による反動減が想定されたものの、「Nintendo Switch 2」の製品価格の値上げに伴う駆け込み需要が発生したことにより、売上高の下落幅が大幅に緩和いたしました。以上の結果、新品の売上高は25,557百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高125,000百万円(前年同期比19.7%増)、営業利益5,301百万円(前年同期比32.8%増)、経常利益5,527百万円(前年同期比30.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,190百万円(前年同期比30.8%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

() 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店			F C店・代理店			合計	
	出店数	退店数		出店数	退店数			
ゲオグループ店舗数	2,191	53	15	121	0	0	2,312	(38)
2nd STREET (国内)	893	21	3	56	0	0	949	(18)
2nd STREET (米国)	56	1	0	0	0	0	56	(1)
2nd STREET (台湾)	50	1	1	0	0	0	50	(0)
2nd STREET (マレーシア)	34	4	0	0	0	0	34	(4)
2nd STREET (タイ)	11	2	0	0	0	0	11	(2)
2nd STREET (シンガポール)	3	1	0	0	0	0	3	(1)
2nd STREET (香港)	4	2	0	0	0	0	4	(2)
GEO	958	2	7	64	0	0	1,022	(△5)
OKURA TOKYO (お蔵)	23	1	1	0	0	0	23	(0)
LuckRack	52	8	1	0	0	0	52	(7)
カプセル薬局	69	10	2	0	0	0	69	(8)
その他	38	0	0	1	0	0	39	(0)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. 2nd STREETは衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗（屋号：2nd STREET、Super2nd STREET、2nd OUTDOOR、JUMBLE STORE等）をカウントしています。

3. GEOは家庭用ゲーム・携帯電話・スマートフォンの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗（屋号：GEO、GEO mobile、GEO DIGITAL BASE）をカウントしています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は201,058百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,665百万円増加いたしました。これは主に売掛金が2,753百万円減少した一方、現金及び預金が1,974百万円、商品が4,811百万円増加したことによるものであります。固定資産は101,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,777百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる有形リース資産（純額）が894百万円減少した一方、使用権資産（純額）が1,145百万円、敷金及び保証金が795百万円、建物及び構築物（純額）が708百万円、繰延税金資産（固定）が574百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、302,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,442百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は55,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ992百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が1,504百万円減少した一方、買掛金が1,987百万円、1年内返済予定の長期借入金が691百万円増加したことによるものであります。固定負債は145,927百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,806百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が3,533百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、201,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,798百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は100,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,643百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3,190百万円及び剰余金の配当676百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は33.3%（前連結会計年度末は33.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月8日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,656	88,631
売掛金	18,792	16,039
商品	77,062	81,873
その他	14,238	14,886
貸倒引当金	△357	△371
流動資産合計	196,393	201,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,486	22,194
土地	7,279	7,286
使用権資産（純額）	23,054	24,199
その他（純額）	12,677	11,653
有形固定資産合計	64,498	65,334
無形固定資産	5,447	6,008
投資その他の資産		
敷金及び保証金	21,177	21,973
繰延税金資産	4,865	5,440
その他	3,074	3,083
貸倒引当金	△246	△246
投資その他の資産合計	28,871	30,250
固定資産合計	98,817	101,594
資産合計	295,211	302,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,469	14,457
1年内返済予定の長期借入金	13,421	14,113
未払法人税等	3,109	2,629
賞与引当金	3,036	1,531
その他	22,862	23,161
流動負債合計	54,899	55,891
固定負債		
社債	12,175	12,175
長期借入金	93,053	96,587
リース債務	26,613	26,673
繰延税金負債	235	447
資産除去債務	7,941	8,027
その他	2,102	2,016
固定負債合計	142,121	145,927
負債合計	197,020	201,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,317	9,317
資本剰余金	3,729	3,729
利益剰余金	84,913	87,427
自己株式	△0	△0
株主資本合計	97,961	100,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	67
為替換算調整勘定	7	125
その他の包括利益累計額合計	60	192
新株予約権	47	47
非支配株主持分	121	118
純資産合計	98,190	100,833
負債純資産合計	295,211	302,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	104,460	125,000
売上原価	59,646	72,617
売上総利益	44,813	52,382
販売費及び一般管理費	40,820	47,080
営業利益	3,993	5,301
営業外収益		
為替差益	82	142
不動産賃貸料	283	284
受取保険金	126	160
その他	114	146
営業外収益合計	607	733
営業外費用		
支払利息	196	323
不動産賃貸費用	90	81
その他	63	102
営業外費用合計	351	508
経常利益	4,249	5,527
特別損失		
減損損失	35	16
特別損失合計	35	16
税金等調整前四半期純利益	4,214	5,510
法人税、住民税及び事業税	1,376	2,666
法人税等調整額	375	△370
法人税等合計	1,751	2,296
四半期純利益	2,463	3,213
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,438	3,190

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,463	3,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	15
為替換算調整勘定	△118	117
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△118	132
四半期包括利益	2,344	3,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,319	3,322
非支配株主に係る四半期包括利益	24	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,754百万円	2,086百万円
レンタル用資産減価償却費	674	528
のれんの償却額	37	36